



ふくしま

児童数433名

文責 校長 柿原 敬道

- 【ふ】ふくしまを愛する子ども
- 【く】くり返し体をきたえる子ども
- 【し】しっかり考え、伝え合う子ども
- 【ま】まわりを思いやるやさしい子ども

ネズミの小判 始めて知りました

「校長先生、ネズミの小判がたくさん落ちていきます。」と、子ども達が教えてくれました。私は知らない実でしたので、ネズミの小判について調べてみました。『ネズミの小判』は、ハゼノキの実だそうです。財布に入れておくと小銭が貯まるとか幸運になるといったことがインターネット上に書かれていました。ハゼノキと聞くと『かぶれる』という心配をしますが、実はネズミの小判と呼ばれて子ども達に人気のようです。登校する子ども達と話をしていると楽しい発見があります。しかし、今朝、元気のない子がいましたので「どうしたの。元気ないね。」と声をかけると、急に泣き出した子がいました。理由を尋ねると「妹が病気で一緒に行けないので寂しい。」と教えてくれました。一人で登校する寂しさと妹を心配する気持ちが重なったのでしょうか。優しい子だなあと思いました。子ども達の純粋な心に触れるとハッとしますし、心を打たれます。



給食に感謝して放送集会

1月24日から1月30日まで、学校給食週間です。世界では、3秒に1人の子どもが栄養失調や病気で亡くなっているそうです。食べるものがなくて死んでいく子どもたちがたくさんいるということです。世界の国を調べると学校給食がない国もけっこうあるようです。そんな国では、お弁当をもってきたり、売店で買ったり、一度家に帰ってお昼を食べたらもう一度学校に来たりしなくてははいけないそうです。



楽しくクラブ活動

本校には8つのクラブがあります。活動する時間は少ないのですが、それぞれの部ごとに工夫して楽しく活動しています。

17日に覗いてみると、茶道・華道クラブは倉八園芸の方のご協力をいただきながら生花を飾り付けていました。科学・創作クラブは、^{のぞ}勾玉の制作に取り組んでいました。他にもコンピュータクラブ、ゲームクラブ、家庭クラブ、ダンス・ミュージッククラブ、屋内外スポーツクラブがあります。どの部も楽しそうでした。



給食時間に募金活動

運営委員会の子ども達が、給食時間に各教室を回って募金活動を行っています。この活動を通して、『一人ひとりの力は小さいけれど、自分達の支援が社会課題の解決に結びつくことを知り、自分の存在が誰かの役に立っているということに気づく』機会になるといいなと思っています。

